

平成27年8月28日

利用者・関係者 各位

広島県立障害者療育支援センター
所長 岩崎 學

個人情報を含む USB メモリの紛失のご報告とお詫び

平成27年8月19日(水)、当センターの障害児通所支援事業担当職員が、利用者様114名の個人情報を保存した USB メモリを、所外で紛失するという事態が発生いたしました。原因は、自宅で資料整理をしようとして持ち帰った USB メモリを、立寄先で小型バックごと置き忘れたことによるものと思われます。心当たりの場所を探し、警察へ遺失物の届け出をしておりますが、発見にいたっておりません。

本件につきましては、利用者様に電話でご連絡し、これまでの経緯をご説明するとともに、ご迷惑、ご心配をおかけしたことをお詫びしております。現在のところ、紛失した個人情報の流出や不正使用についての報告や問い合わせは当センターに寄せられておりませんが、利用者様はもとより関係者様にも多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

当センターは、利用者様の個人情報を取り扱う事業者として、このような事態を招いたことを重く受け止め、再発防止委員会の設置、個人情報保護管理の実態調査を行い、再発防止策に取り組みます。また、改めて個人情報の取り扱いについての職員教育並びに管理体制の強化に努めます。